

平成18（2006）年度

埋蔵文化財緊急発掘調査概報

中ノ坪遺跡
都呂須遺跡
垂水遺跡
垂藏人遺跡
垂水中遺跡C地点
垂水南遺跡
豊嶋郡条里遺跡

平成19（2007）年3月

吹田市教育委員会

序

吹田市では、昭和49（1974）年度に国庫補助事業の埋蔵文化財発掘調査を実施して以来、これまでに市内各所において数多くの発掘調査を実施してまいりました。平成18（2006）年度においては、国庫補助事業として市内に所在する遺跡に対して5件（12月末現在）の発掘調査を実施しました。これらの調査は住宅の建築工事を契機として実施したもので、調査に際しては事業者をはじめとした多くの方々のご協力を得ました。本市教育委員会においてはこれからも文化財の保護に対してより一層の充実をかるべく、文化財保護事業等に取り組んでいく所存ですが、市民の皆様方のご理解をいただかなければなしうるものではありません。市民の皆様方におかれましては埋蔵文化財の発掘調査をはじめとする本市の文化財保護行政に対して、今後とも深いご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

平成19（2007）年3月

吹田市教育委員会
教育長 延地和子

例　　言

- 本書は平成18(2006)年度国庫補助事業として実施した、藏人遺跡、垂水中遺跡C地点、垂水南遺跡、豊嶋郡条里遺跡、垂水遺跡(12月末現在)の緊急発掘調査をまとめたものである。また、平成17(2005)年度に国庫補助事業として実施した中ノ坪遺跡、都呂須遺跡、垂水遺跡についても併せて報告する。
- 発掘調査地点は次のとおりである。

平成17(2005)年度

中ノ坪遺跡 吹田市岸部南2-34-11

都呂須遺跡 吹田市元町668-2

垂水遺跡 吹田市円山町68-90

平成18(2006)年度

藏人遺跡 吹田市農津町918-1

垂水中遺跡C地点 吹田市垂水町3-941-10

垂水南遺跡 吹田市垂水町3-952-27

豊嶋郡条里遺跡 吹田市泉町2-2586-5

垂水遺跡 吹田市円山町347-51

- 発掘調査の整理作業は吹田市岸部北4丁目10番1号、吹田市立博物館で実施し、資料の保管も同所において行っている。
- 本文の執筆は、第1~3・4(1)・6~8章を西本安秀が、第4(2)・5章を賀納章雄が行った。
- 図中の方位は磁北を示し、標高はT.P.(東京湾標準潮位)を示す。
- 発掘調査において、唐崎毅氏、唐崎洋子氏、(有)ツバサ住建、吉原則雄氏、山口進一氏、大山絵里氏、三好国治氏、大西公紀氏、土田耕司氏をはじめ、多くの方々の協力を得ました。記して謝意を表します。

発掘調査参加者名簿

調査主体　吹田市教育委員会

調査指導　大阪府教育委員会文化財保護課

調査担当　吹田市教育委員会吹田市立博物館文化財保護係　西本安秀・賀納章雄

調査員：花崎晶子・佐藤健太郎　　調査補助員：秋山芳恵

目 次

第1章	平成18年度埋蔵文化財発掘調査の契機	1
第2章	中ノ坪遺跡の発掘調査	3
第3章	都呂須遺跡の発掘調査	4
第4章	垂水遺跡の発掘調査	5
第5章	藏人遺跡の発掘調査	7
第6章	垂水中遺跡C地点の発掘調査	9
第7章	垂水南遺跡の発掘調査	10
第8章	豊崎郡条里遺跡	11

挿 図 目 次

第1図	発掘調査地点位置図	2
第2図	中ノ坪遺跡発掘調査地周辺図	3
第3図	調査区平面図	3
第4図	土層断面図	3
第5図	都呂須遺跡発掘調査地周辺図	4
第6図	調査区平面図	4
第7図	土層断面図	4
第8図	垂水遺跡発掘調査地周辺図	5
第9図	調査区平面図	5
第10図	土層断面図	5
第11図	調査区平面図	6
第12図	土層断面図	6
第13図	藏人遺跡発掘調査地周辺図	7
第14図	調査区平面図	7
第15図	土層断面模式図	8
第16図	垂水中遺跡C地点及び垂水南遺跡発掘調査地周辺図	9
第17図	調査区平面図	9
第18図	土層断面図	9
第19図	調査区平面図	10
第20図	土層断面図	10
第21図	豊崎郡条里遺跡発掘調査地周辺図	11
第22図	調査区平面図	11
第23図	土層断面図	11

図 版 目 次

- 図版1 中ノ坪遺跡1
- 図版2 中ノ坪遺跡2
- 図版3 都呂須遺跡1
- 図版4 都呂須遺跡2
- 図版5 垂水遺跡（平成17年度）1
- 図版6 垂水遺跡（平成17年度）2
- 図版7 垂水遺跡（平成18年度）
- 図版8 藏人遺跡1
- 図版9 藏人遺跡2
- 図版10 藏人遺跡3
- 図版11 藏人遺跡4
- 図版12 垂水中遺跡C地点1
- 図版13 垂水中遺跡C地点2
- 図版14 垂水南遺跡1
- 図版15 垂水南遺跡2
- 図版16 豊嶋郡条里遺跡1
- 図版17 豊嶋郡条里遺跡2

第1章 平成18(2006)年度埋蔵文化財発掘調査の契機

平成18(2006)年度は、蔵人遺跡、垂水中遺跡C地点、垂水南遺跡、豊嶋郡条里遺跡、垂水遺跡の5遺跡5件(12月末現在)の発掘調査を住宅建築工事に伴い実施した。

蔵人遺跡は弥生時代～中世の複合遺跡で、吹田市豈津町、江坂町2・3丁目に所在し、南北約500m、東西約300mの不整橢円形の範囲が推定範囲である。これまで二十数次にわたる発掘調査によって中世の集落遺跡が主体であることが判明している。確認された中世の主な遺構として、掘立柱建物跡、井戸、溝、土坑、ピット等があり、土師器、須恵器、瓦器、陶器、青磁、白磁、瓦、木製品(下駄、箸、板草履、木椀、毬打の毬)、漆器椀、鉄製品(短刀、刀子)、錢貨、砾石等当時の人々の生活を想定させる多様な遺物が出土したが、鎌倉時代末頃の銅鏡(和鏡)など通常の集落遺跡にとどまらない遺物の出土もあった。今回の調査地点は蔵人遺跡の南西(周辺地)で平成18(2006)年5月24日に住宅建築に伴い試掘調査を実施した。

垂水中遺跡C地点は垂水町3丁目に所在する。平成10(1998)年1月に試掘調査が実施された際に発見された遺跡である。その際、中世と古墳時代の遺物包含層とともに、古墳時代の土師器、須恵器、中世の土師器、瓦器等の遺物が出土した。垂水中遺跡C地点は、垂水中遺跡、垂水中遺跡B地点とともに、周辺に展開する垂水遺跡と垂水南遺跡の中間地点に位置し、何らかの関連を持つものと考えられるが、これまで周辺の調査が進んでおらず、今後の調査の進展に期待が寄せられる。今回の調査地点は垂水中遺跡C地点の推定範囲の東方(周辺地)で平成18(2006)年7月21日に住宅建築工事に伴い、試掘調査を実施した。

垂水南遺跡は垂水町3丁目、江坂町1丁目に所在する、弥生時代～中世の複合遺跡である。昭和49(1974)年に区画整理事業に伴う管理設工事の際に発見され、これまで五十数次に及ぶ発掘調査が行われた結果、中心となるのが古墳時代の集落であることが判明した。古墳時代前期～中期の集落跡では、竪穴式建物、掘立柱建物等の建物跡、土坑、井戸、溝などが検出された。出土遺物は集落内で日常に使用された土師器が多いが、その中に東海系・山陰系・吉備系等の在地産以外の土器が含まれ、古墳時代の人々の交流の一端を示すものと考えられる。最近の調査成果として遺跡内の数ヶ所で出土の鉱滓の分析を行った結果、これらは鍛冶滓であることがわかり、古墳時代中期に鍛冶生産を行っていたことが判明した。また、玉造関係の生産も行われたことが確認されている。平安時代のものとして、河道、これに付随する木組み・堰等が検出され、特に、第5次調査で検出された河道からは「垂庄」等と書かれた墨書き土器が出土し、弘仁3(812)年に成立した東寺領垂水庄に関連した遺物であることが明らかとなった。他に平安時代の遺物としては、土師器、須恵器、縄釉陶器、銅鏡(和銅開珎・萬年通寶・隆平永寶)等が出土している。今回の調査地は垂水南遺跡の推定範囲の北東方(周辺地)に位置し、平成18(2006)年9月7日に住宅建築工事に伴い、試掘調査を実施した。

豊嶋郡条里遺跡は泉町2丁目に所在する、縄文時代～近世の複合遺跡である。昭和57(1982)・58(1983)年に行われた発掘調査で、中心となるのが条里関連遺構であることが判明した。豊

鷲郡条里東限界上に左右に幅約3mの堤防を有する幅約1mの水路を延長100mにわたって検出し、坪境畦畔、木組み、竹製樋管を検出した。出土遺物としては縄文土器、弥生土器、須恵器、土師器、瓦器、青磁、瓦、石鍋、宋銭、下駄、近世陶磁器などがある。今回の調査地は豊鷲郡条里遺跡の推定範囲の北西方(周辺地)に位置し、平成18(2006)年11月15日に住宅建築工事に伴い、試掘調査を実施した。

垂水遺跡は円山町、垂水町1・2丁目に所在する、弥生時代～中世の複合遺跡である。昭和48(1973)～51(1976)年に本格的な発掘調査が行われた結果、弥生時代の高地性集落であることが判明したが、昭和62(1987)年に丘陵南裾部で行われた調査では弥生時代の遺構・遺物等が確認され、集落跡は裾部の平坦地にも及ぶことが判明した。昭和55(1980)～56(1981)年に垂水神社東側の丘陵裾部で行われた調査では、垂水神社との関連が想定される宝塔文の軒丸瓦など平安時代末の遺物が出土した。平成10(1998)年の調査では、熔解途上の痕跡のある古墳時代の鏡の破片が出土し、古墳時代には鋳造関連施設が存在すると想定された。今回の調査地は垂水遺跡の北東方(周辺地)に位置し、平成18年(2006)11月20日に住宅建築工事に伴い、試掘調査を実施した。

なお、本概報においては、平成17(2005)年度に実施した発掘調査のうち、平成18(2006)年2月9日に調査を実施した中ノ坪遺跡(岸部南2-34-11)、平成18(2006)年3月14日に調査を実施した都呂須遺跡(元町668-2)、平成18(2006)年3月17日に調査を実施した垂水遺跡(円山町68-90)の調査報告も併せて掲載する。



第1図 発掘調査地点位置図 (1:40,000 明治18(1885)年測量地図)

第2章 中ノ坪遺跡の発掘調査 [平成17(2005)年度]

1. 調査の経過

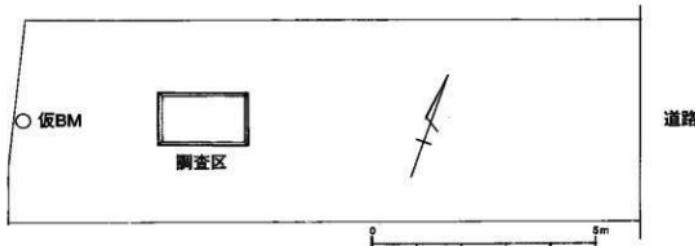
今回の調査は住宅の建築に伴い、平成18(2006)年2月9日に調査区1ヶ所(調査面積約2.4m²)を設定し、重機及び人力で調査を実施した。

2. 調査の成果

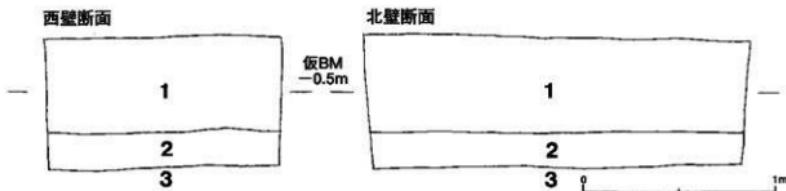
当調査区の基本層序は、I層 盛土、II層 黒灰色粘質土(水田耕土、現代)、III層 灰色粘質土で、地表(設計GL)下約0.9mまで掘削した。これらの層からは埋蔵文化財は確認されなかった。



第2図 中ノ坪遺跡発掘調査地周辺図
(1 : 5,000)



第3図 調査区平面図



第4図 土層断面図

第3章 都呂須遺跡の発掘調査 [平成17(2005)年度]

1. 調査の経過

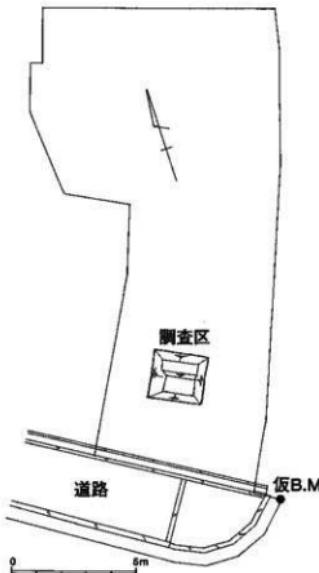
今回の調査は住宅の建築に伴い、平成18(2006)年3月14日に調査区1ヶ所(調査面積約4.2m²)を設定し、重機及び人力で調査を実施した。

2. 調査の成果

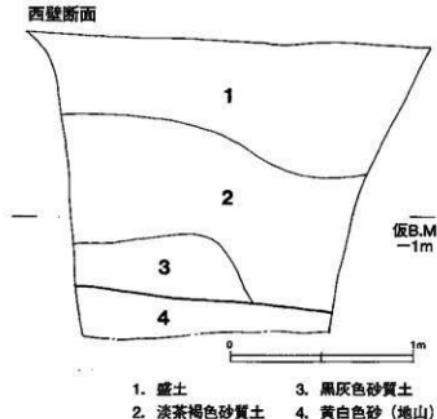
当調査区の基本層序は、I層 盛土、II層 淡茶褐色砂質土、黒灰色砂質土(搅乱層、現代)、III層 黄白色砂(地山)で地表下約1.6mまで掘削した。これらの層からは埋蔵文化財は確認されず、既に地下深くまで搅乱を受けているものと判断される。



第5図 都呂須遺跡発掘調査地周辺図 (1:5,000)



第6図 調査区平面図



第7図 土層断面図

第4章 垂水遺跡の発掘調査

1. 円山町68-90における調査

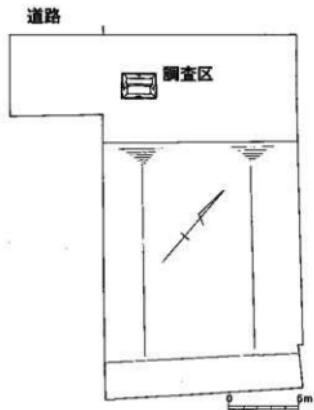
[平成17(2005)年度]

(1) 調査の経過

今回の調査は住宅の建築に伴い、平成18(2006)年3月17日に調査区1ヶ所(調査面積約4.1m²)を設定し、重機及び人力で調査を実施した。

(2) 調査の成果

当調査区の基本層序は、I層 盛土(暗褐色土、茶灰褐色砂質土、暗茶褐色砂質土等現代)、II層 白色砂(地山か)で地表下約2mまで掘削した。概して、南側の斜面に向かって土砂が流れ込んでいる状況が認められ、地表下約2mまで現代の遺物が含まれていた。これらの層からは埋蔵文化財は確認されなかった。



第9図 調査区平面図



第8図 垂水遺跡発掘調査地周辺図 (1:5,000)

西壁断面



第10図 土層断面図

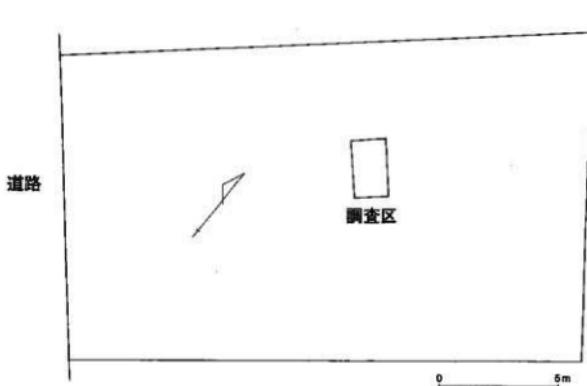
2. 円山町347-51における調査〔平成18(2006)年度〕

(1) 調査の経過

今回の調査は、住宅建築に伴い実施したものである。平成18(2006)年11月20日に調査区1ヶ所(約4 m²)を設定し、重機を用いて実施した。

(2) 調査の成果

調査区を約1.9mの深さまで掘削したが、当地は既に造成工事を受けており、現代の盛土層が堆積するのみで、明確な遺構・遺物については検出されなかった。



第11図 調査区平面図 [平成18(2006)年度]



第12図 土層断面図 [平成18(2006)年度]

第5章 蔵人遺跡の発掘調査 [平成18(2006)年度]

1. 調査の経過

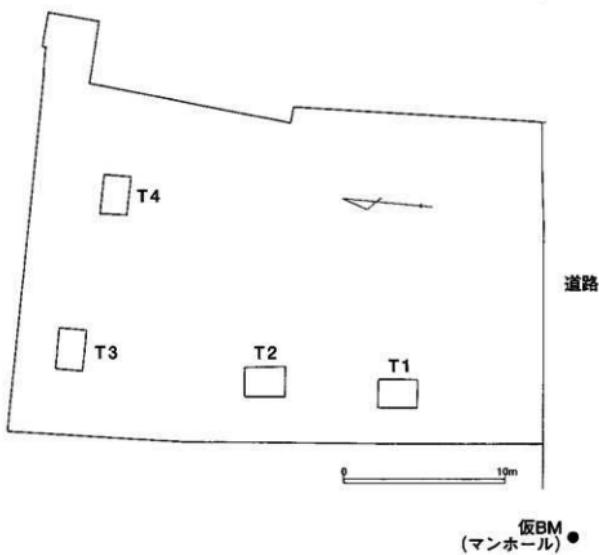
今回の調査は豊津町918-1において、住宅建築に伴い実施したものである。平成18(2006)年5月24日に調査区4ヶ所(17.4m²)を設定し、重機及び人力で調査を実施した。

2. 調査の成果

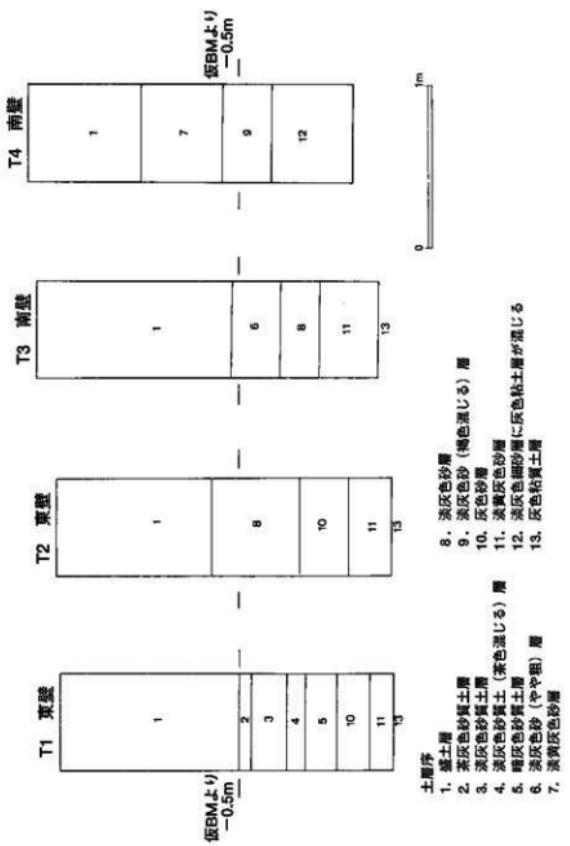
調査区を掘削したところ、現代盛土層以下、主に灰色系の砂層・砂質土層の堆積が認められたが、明確な遺構・遺物については検出されなかった。



第13図 蔵人遺跡発掘調査地周辺図 (1:5,000)



第14図 調査区平面図



第15図 土層断面模式図

第6章 垂水中遺跡C地点の発掘調査 [平成18(2006)年度]

1. 調査の経過

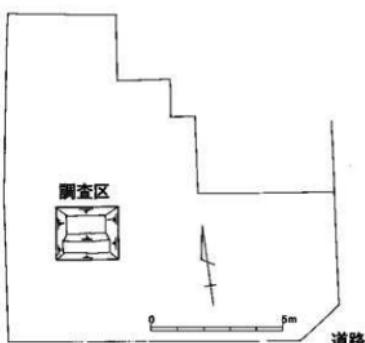
今回の調査は住宅の建築に伴い、平成18(2006)年7月21日に調査区1ヶ所(調査面積約4.4m²)を設定し、重機及び人力で調査を実施した。

2. 調査の成果

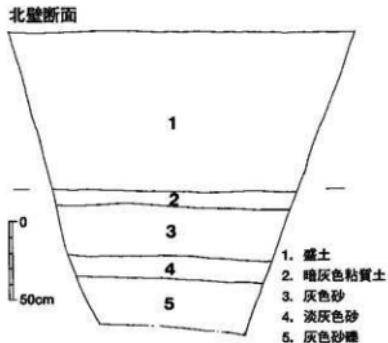
当調査区の基本層序は、1. 盛土、2. 暗灰色粘質土(水田耕土 現代)、3. 灰色砂、4. 淡灰色砂、5. 灰色砂砾で、これより以下は湧水が激しく、掘り下げることができなかつたが、地表下約1.8mまでの土層の堆積状況は確認できた。これらの層からは埋蔵文化財は確認されなかつた。



第16図 垂水中遺跡C地点及び垂水南遺跡発掘調査地周辺図 (1:5,000)



第17図 調査区平面図



第18図 土層断面図

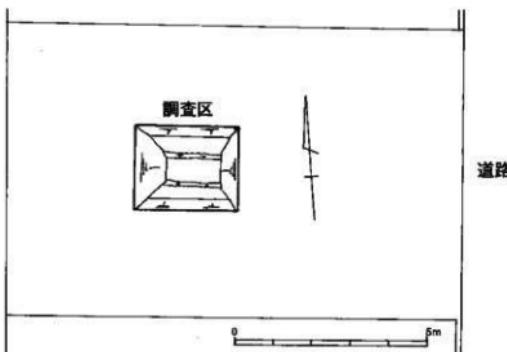
第7章 垂水南遺跡の発掘調査 [平成18(2006)年度]

(1) 調査の経過

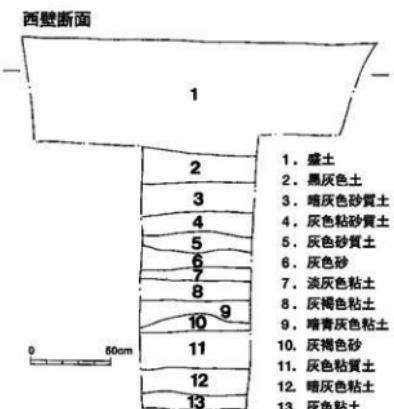
今回の調査は住宅の建築に伴い、平成18(2006)年9月7日に調査区1ヶ所(調査面積約6.0m²)を設定し、重機及び人力で調査を実施した。

(2) 調査の成果

当調査区の基本層序は、I層 盛土(現代)、II層 黒灰色土(水田耕土 現代)、III層 暗灰色砂質土、灰色粘砂質土、灰色砂質土、灰色砂、IV層 淡灰色粘土、灰褐色粘土、暗青灰色粘土、灰褐色砂、V層 灰色粘質土、暗灰色粘土、灰色粘土で地表下約2.3mまで掘削した。これらの層からは埋蔵文化財は確認されなかった。



第19図 調査区平面図



第20図 土層断面図

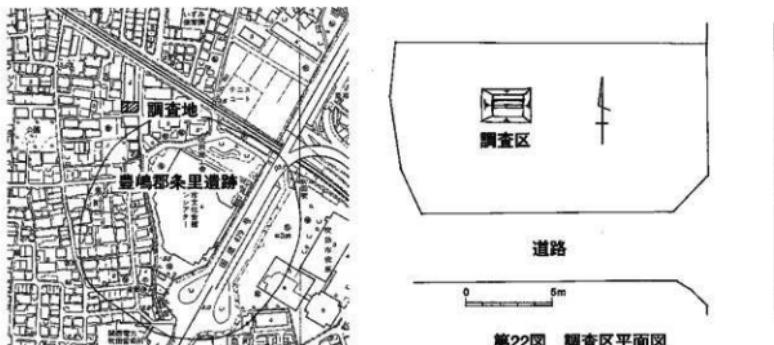
第8章 豊嶋郡条里遺跡の発掘調査 [平成18(2006)年度]

1. 調査の経過

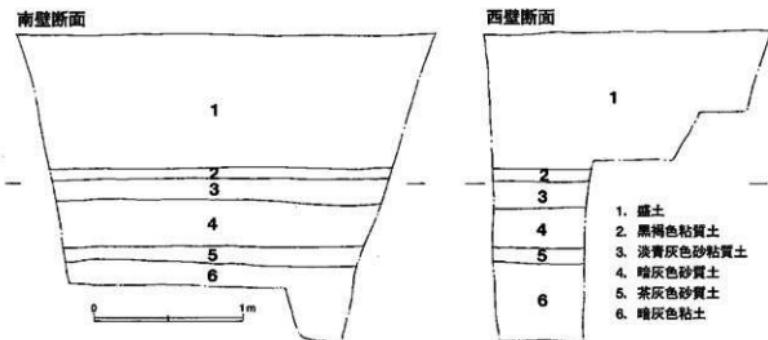
今回の調査は住宅の建築に伴い、平成18(2006)年11月15日に調査区1ヶ所(調査面積約5.3m²)を設定し、重機及び人力で調査を実施した。

2. 調査の成果

当調査区の基本層序は、I層 盛土(現代)、II層 黒褐色粘質土(水田耕土 現代)、III層 淡青灰色粘砂質土、IV層 暗灰色砂質土、茶灰色砂質土、V層 暗灰色粘土で、地表下約2mまで掘削した。これらの層からは埋蔵文化財は確認されなかった。



第21図 豊嶋郡条里遺跡発掘調査地周辺図 (1:5,000)



第23図 土層断面図

報告書抄録

ふりがな 書名	へいせい18(2006)ねんどまいぞうぶんかざいきんきゅうはくつちようさがいほう 平成18(2006)年度埋蔵文化財緊急発掘調査概報
副書名	中ノ坪遺跡 都呂須遺跡 垂水遺跡 藏人遺跡 垂水中遺跡C地点 垂水南遺跡 豊嶋郡条里遺跡
卷次	
シリーズ名	
シリーズ番号	
編集者名	西本安秀・賀納章雄
編集機関	吹田市教育委員会
所在地	〒564-0041 大阪府吹田市泉町1丁目3番40号 TEL (06)6384-1231
発行年月日	西暦 2007年3月30日

ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所 在地	コード		北緯 °. ′. ″	東經 °. ′. ″	調査期間	調査面積	調査因
		市町村	遺跡番号					
なか の ひづれ い せき 中ノ坪遺跡	すいた しきしべのひ 吹田市岸部南2-34-11	27205	97	34° 46'19"	135° 32'26"	20060209	2.4	建物の 建築
と ろ す い せき 都呂須遺跡	すいた し もとまち 吹田市元町668-2	27205	91	34° 45'32"	135° 31'20"	20060314	4.2	建物の 建築
たるみ い せき 垂水遺跡	すいた し まるやまとひ 吹田市円山町68-90	27205	86	34° 46'4"	135° 30'23"	20060317	4.1	建物の 建築
たるみ い せき 垂水遺跡	すいた し まるやまとひ 吹田市円山町347-51	27205	86	34° 46'10"	135° 30'22"	20061120	4	建物の 建築
くわう うど い せき 藏人遺跡	すいた しどよつけい 吹田市豊津町918-1	27205	85	34° 45'37"	135° 29'29"	20060524	17.4	建物の 建築
たるみ なか い せきしーちん 垂水中遺跡C地点	すいた したるみ ちん 吹田市垂水町3-941-10	27205	131	34° 45'47"	135° 30'18"	20060721	4.4	建物の 建築
たるみ みかね い せき 垂水南遺跡	すいた したるみ ひな 吹田市垂水町3-952-27	27205	88	34° 45'44"	135° 30'16"	20060907	6	建物の 建築
てしまぐんじょり い せき 豊嶋郡条里遺跡	すいた しげみらひ 吹田市泉町2-2586-5	27205	95	34° 45'38"	135° 30'53"	20061115	5.3	建物の 建築

所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項
中ノ坪遺跡	集落遺跡	中世	なし	なし	なし
都呂須遺跡	集落遺跡	中世	なし	なし	なし
垂水遺跡	集落遺跡	弥生・古墳	なし	なし	なし
垂水遺跡	集落遺跡	弥生・古墳	なし	なし	なし
藏人遺跡	集落遺跡	古墳・中世	なし	なし	なし
垂水中遺跡C地点	集落遺跡	古墳・中世	なし	なし	なし
垂水南遺跡	集落遺跡	古墳・平安	なし	なし	なし
豊嶋郡条里遺跡	集落遺跡	中世	なし	なし	なし



調査地近景（西から）



調査区（東から）

図版2
中ノ坪遺跡2



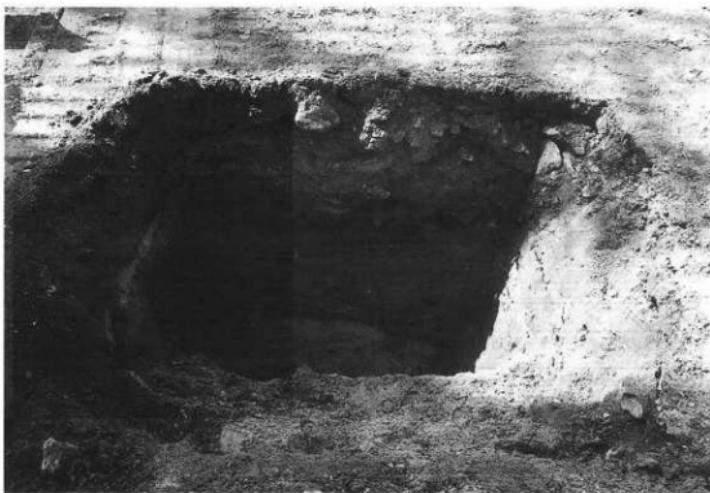
調査区近景（南から）



調査区南壁（北から）



調査区近景（西から）



調査区（東から）

図版
4

都呂須遺跡2



調査区西壁断面（東から）



調査区南壁断面（北から）



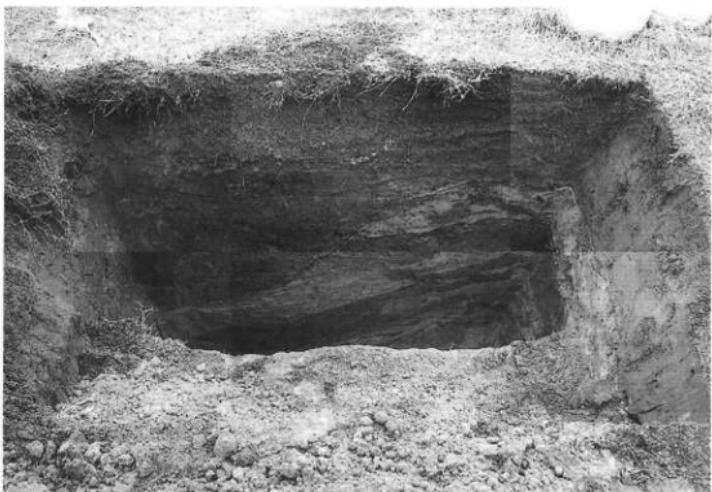
調査前（西から）



調査区近景（南から）

図版 6

垂水遺跡(平成17年度)
2



調査区近景（東から）

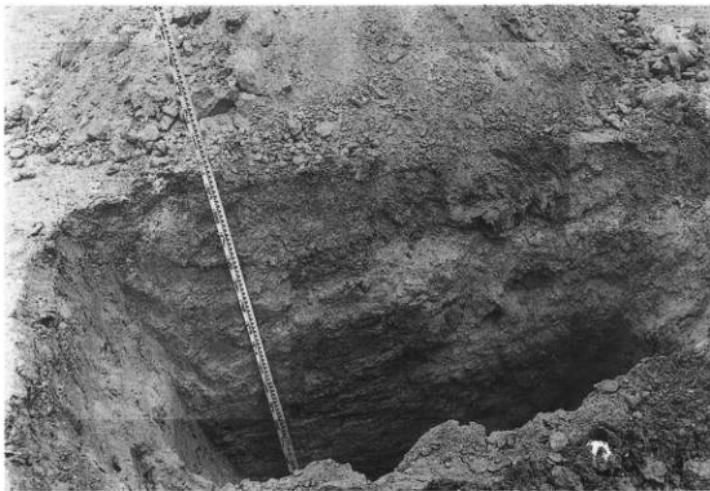


調査区西壁（東から）

図版 7 垂水遺跡(平成18年度)



調査区近景（東から）



調査区南壁

図版 8

藏人遺跡 1



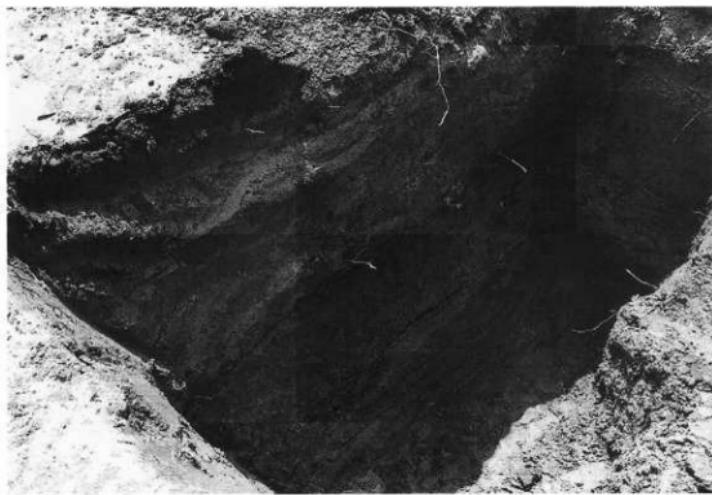
T 1 近景（南から）



T 1 東壁



T 2 近景（北から）



T 2 東壁



T 3 近景（北西から）



T 3 南壁



T 4 近景（南東から）



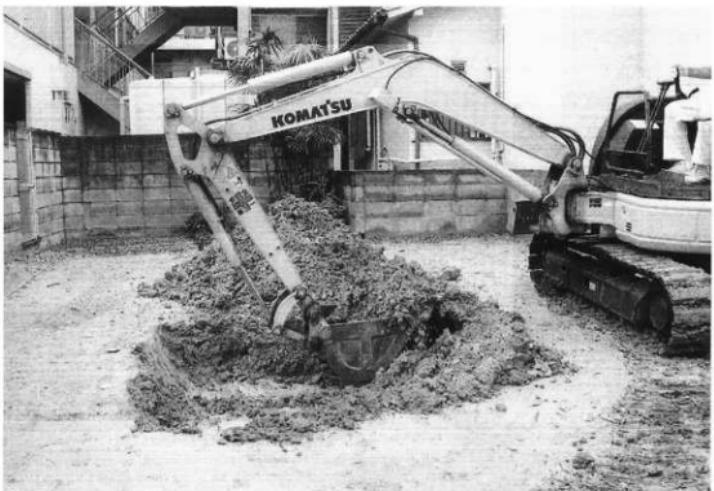
T 4 南壁

図版
12

垂水中遺跡C地点
1



調査地近景（南東から）



調査区近景（南から）



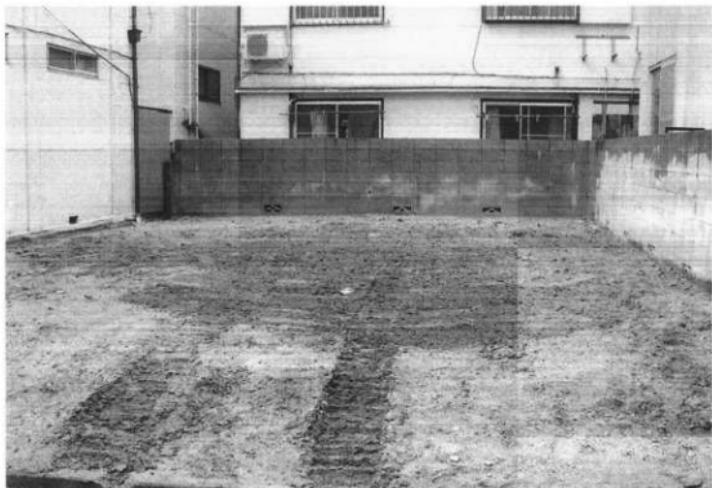
調査区（南から）



調査区北壁（南から）

図版
14

垂水南遺跡
1



調査地近景（東から）



調査区（南から）



調査区近景（東から）



調査区西壁（東から）

図版
16

豊島郡条里遺跡
1

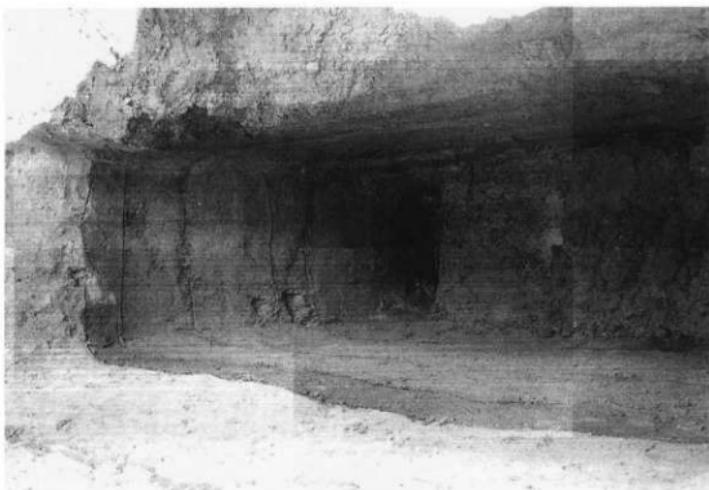


調査地近景（西から）



調査区（北から）

調査区近景（東から）



調査区西壁（東から）



平成18(2006)年度
埋蔵文化財緊急発掘調査概報

中ノ坪遺跡
都呂須遺跡
垂水遺跡
垂藏人遺跡
垂水中遺跡C地点
垂水南遺跡
豊嶋郡条里遺跡

平成19(2007)年3月30日
編集 吹田市泉町1丁目3番40号
発行 吹田市教育委員会

この概報は300部作成し、一部当たりの単価は504円です。